

区分・種別	史跡		
名称	はざいけこふん 葉佐池古墳		
所在地	松山市北梅本町		
所有者	松山市ほか	管理団体	
指定年月日	平成23年2月7日		
解説	<p>葉佐池古墳は、道後平野の北東部、石手川水系の小野川左岸の丘陵上に位置する、6世紀中頃に築造され7世紀初頭まで追葬が行われた古墳である。平成4（1992）年、開墾中に偶然に発見され、平成5（1993）年から平成20（2008）年にかけて、松山市教育委員会により5次に及ぶ発掘調査が実施された。公園整備完了後の平成26（2014）年7月からは一般公開されている。</p> <p>墳丘は長径約41m、最大幅約23mの楕円形で、ひとつの墳丘に5基の石室が築かれた。発掘調査された1・2号石室は、ともに両袖式の横穴式石室で、盗掘を受けていないため最終埋葬時の形態をよく留めている。また、1号石室から出土した人骨のうち1体にはハエの蛹の殻<small>（さなぎから）</small>が多量に付着しており、そのハエの種類と習性から、この被葬者は死後一週間から十数日間、一定の光量のある場所に安置されていたことが判明した。葉佐池古墳は、初葬から最終埋葬に至るまでの間に行われた、数回の副葬や儀礼行為を復元することができるだけでなく、被葬者の死から埋葬までの期間や、その間遺体が置かれた環境が判明するなど、古墳時代後期の葬送儀礼を知る上で重要である。</p>		



1号石室



古墳の遠景